

様式第6号（業務方法書）

番 号
令和 5年11月15日

東京都肥料価格高騰対策協議会 会長 殿

所在地 立川市錦町●丁目●番▲号
取組実施者名 (株)東京農業肥料
代表者氏名 代表取締役 東京 都栄子

令和●年度肥料価格高騰対策事業取組中間報告書

肥料価格高騰対策事業実施要領（令和3年12月20日付け3農産第2156号農林水産省農産局長通知）第13の規定に基づき、下記のとおり報告する。

記

取組の実施状況

取組メニュー	取組の実施状況
ア 土壌診断による施肥設計	(1) ○月～○月に土壌診断を実施し、施肥内容を検討した（5件） (2) (1)のうち、4件については、土壌診断を増やし、取組を行った。 (3) (1)の残り、1件については、○月頃に土壌診断を実施し、施肥内容を検討予定。
エ 堆肥の利用	(1) 堆肥を施用した（5件） (2) (1)のうち、植え付け前に堆肥を施用した（4件） (3) (1)のうち、○月頃に堆肥を施用予定（1件）

参加農業者からの化学肥料低減計画書の右側に○が付いているメニューを記入

・参加農業者の取組の実施状況を記入。
※代表的な取組の実施状況を記入するのではなく、参加農業者の取組の実施状況が分かるように記入する。下記の（注）2参照。

(注)

1 取組メニューには、取組実施者において取り組んでいるメニューを記入し、適宜、行を追加すること。

2 参加農業者が、中間期間までにどのような取組を行ったのか、また、取組前と比べてどの程度取組が進んでいるかを記入してください。

(添付資料)

様式第6－2号